

まちへダイブ！ 第8回横浜トリエンナーレ 1/18(木)から前売チケット発売開始

第8回横浜トリエンナーレは、いよいよ今年3月15日（金）に開幕します。概要が決まりましたので、以下に発表します。

特徴

*プレス資料4-5ページ

- ・北京を拠点として国際的に活躍するアーティストとキュレーターのチーム、リウ・ディン(劉鼎)とキャロル・インホワ・ルー(盧迎華)をアーティストック・ディレクター(AD)に迎えます。
- ・全体テーマは「野草：いま、ここで生きてる」です。
- ・美術館から街へと大きく広がります。横浜駅から山手地区におよぶエリアを使って、ADが手がける国際展「野草：いま、ここで生きてる」と、地域の文化・芸術活動拠点による展示やプログラム「アートもりもり!」を展開します。
- ・無料の展示をはじめ、どなたでもアートに親しむことができる多数のプログラムをご用意します。

環境破壊や戦争、経済格差や不寛容——わたしたちの世界は今日多くの問題を抱えています。

ADが企画する「野草：いま、ここで生きてる」展（以下「野草」展）は、先行きの見えないこの時代を、野草のようにもろく無防備でありながら、同時にたくましく生きようとするひとりひとりの姿に目を向けます。世界中から集まる現代アーティストたちの作品を通してわたしたちの生き方をふり返り、その先にきっとある希望をみなさんとともに見出したいと考えます。

「野草」展のメイン会場は、本展をもって3年ぶりにリニューアルオープンする「横浜美術館」と、港近くの「旧第一銀行横浜支店」および「BankART KAIKO」です。また、「クイーンズスクエア横浜」、「元町・中華街駅連絡通路」の無料空間にも作品を展示します。

あわせて「アートもりもり!」の名称で、「野草」の統一テーマのもと、地域の文化・芸術拠点が多彩な展示やプログラムを展開します。「BankART Life7」（みなとみらい線新高島駅）、および「黄金町バザール2024」（京急線日ノ出町駅・黄金町駅間の高架下スタジオほか）は、「野草」展とのセット券で楽しめます。その他、写真家、石内都の「絹の夢-silk threaded memories」（みなとみらい線馬車道駅コンコース）など、無料で楽しめる展示も盛りだくさんです。

海と山、新しいまちと歴史あるまち。さまざまな横浜の素顔に触れながらアートと対話する——そんな横浜ならではの街歩きをお楽しみください。

前売チケットの発売は1月18日(木)10時から。横浜市民は前売の場合、一般の通常価格から300円引とお得です。18歳以下または高校生以下は無料で鑑賞できます。



左上から時計回り：●ブリクラー・ペーパー（チェン・イーフェイ&オウ・フェイホン）／刺紙（陳逸飛&歐飛鴻）《刺紙書画 Flying Books of Prickly Paper》2022、©刺紙 Prickly Paper ●オープングループ（ユリー・ペーリー、バグロ・コヴァチ、アントン・ヴァルガ）《Repeat After Me》2022 (video still), Courtesy of the artists ●ロアル・ナンゾ（GIRJEGUMPI: The Sāmi Architecture Library in Jokmokk）2018, Photo: Astrid Fadnes ●サンドラ・ムジンガ（Ghosting）2019 (installation view), ©Sandra Mujinga, Crow Nielsen Vienna (Austria), The Approach London (UK) and David Sierholm, Photo: David Sierholm ●ビバ・グーナー（Human Prototype）2020, Courtesy of the artist and STARS, Los Angeles, Photo: Bennet Perez ●志賀理江子《あの夜のつなぐところ》2023, ©Lieko Shiga, Courtesy of the artist, Photo: artist ●セレン・オーゴード（Prepper's Lab）2021 (video still), Photo: Ink Agop ●ジャコ・イエニンゲン／趙延年《野草》1978, Courtesy of Liu Ying

第8回 横浜トリエンナーレ 野草：いま、ここで生きてる

プレスリリース
2024年1月17日

【会場マップ】



「野草：いま、ここで生きてる」展会場

横浜美術館（横浜市中区みなとみらい3-4-1）

旧第一銀行横浜支店（横浜市中区本町6-50-1）

BankART KAICO（横浜市中区北仲通5-57-2 KITANAKA BRICK & WHITE 1F）

クイーンズスクエア横浜（横浜市中区みなとみらい2-3 クイーンズスクエア横浜 2F クイーンモール）

元町・中華街駅連絡通路（みなとみらい線「元町・中華街駅」中華街・山下公園改札1番出口方面）

「アートもりもり！」主なプログラムと会場

セット券プログラム

- ・ BankART Life7「UrbanNesting：再び都市に棲む」（会場）BankART Station 他周辺各所
- ・ 黄金町バザール2024—世界のすべてがアートでできているわけではない
（会場）京急線日ノ出町駅・黄金町駅間の高架下スタジオ/周辺のスタジオほか

横浜で開催されるアート・プログラム

- ・ 石内都「絹の夢—silk threaded memories」（会場）みなとみらい線馬車道駅コンコース
- ・ ポート・ジャーニー・プロジェクト“SEVEN SEEDS”展（会場）象の鼻テラス
- ・ 創造都市横浜20周年記念 横浜クリエイティブCOOP（会場）BankART KAICO ショップエリア
- ・ NEWoMan ART Window「Hi and Bye」高橋銃（会場）ニューマン横浜 NEWoMan ART Window
- ・ 横浜マリニタワー 横浜トリエンナーレ特別プログラム（会場）横浜マリニタワー 2階アートギャラリー、展望フロア

【チケット情報】 前売チケットは1月18日(木)10時から発売開始

18歳以下または高校生以下は、無料
横浜市民は、前売りチケットがお得です（一般料金から300円引き）

券種	対象	一般	横浜市民	学生 (19歳以上)
	「野草：いま、ここで生きてる」鑑賞券 横浜美術館／旧第一銀行横浜支店／BankART KAIKOの3会場に入場可能（別日程も可）	2,300円 (前売：2,200円)	2,100円 (前売：2,000円)	1,200円
	セット券 鑑賞券と「BankART Life7」「黄金町バザール 2024」のパスポートがセットになったチケット	3,300円 (前売：3,200円)	3,100円 (前売：3,000円)	2,000円
	フリーパス すべての会場に何度でも入場できます (取扱場所は横浜美術館のみ)	5,300円	5,100円	3,000円

- ・横浜市内にお住まいの方はお得な価格でチケットをご購入できます。チケット購入の際に居住を証明するものをご確認させていただきます。
- ・学生チケットをお持ちの方は、各会場で在学を証明する書類（学生証等）を提示してください。
- ・鑑賞券、セット券を購入済の方でもフリーパスへのアップグレードが可能です。差額分を横浜美術館会場チケット窓口にてお支払いください。（差額は「鑑賞券」一般3,000円/学生1,800円、[セット券] 一般2,000円/学生1,000円です。）
- ・障がい者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料です。

【購入方法】

前売期間 「1/18(木)10時から」

オンライン：公式WEBサイトにアクセスしてください。 <https://www.yokohamatriennale.jp/>

会場窓口：セット券プログラム 会場

- ・BankART Station（みなとみらい線 新高島駅B1F）
- ・黄金町バザールインフォメーション「高架下スタジオSite-Aギャラリー」（横浜市中区黄金町1-6先）

- ご注意
- ・横浜美術館で前売チケットは購入できません。
 - ・フリーパスは、前売の取り扱いはありません。3/15(金)から横浜美術館にて販売します。
 - ・日時指定（事前予約）ではありません。

会期中 「3/15(金)～6/9(日)」

オンライン：公式WEBサイトにアクセスしてください。 <https://www.yokohamatriennale.jp/>

会場窓口：「野草：いま、ここで生きてる」展 会場 横浜美術館

セット券プログラム 会場（上記前売会場の通り）

- ご注意
- ・「野草：いま、ここで生きてる」会場の、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKOではチケットは購入できません。
 - ・フリーパスは、「横浜美術館」会場のみで購入できます。オンラインの取扱いはありません。

【お問い合わせ】 ハローダイヤル 050-5541-8600（9:00-20:00）

開催概要 | 第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」

アーティスト・ディレクター：リウ・ディン(劉鼎)、キャロル・インホワ・ルー(盧迎華)

会期：2024年3月15日(金)－6月9日(日) 開場日数：78日間

休場日：毎週木曜日(4/4、5/2、6/6を除く)

開場時間：10:00－18:00（入場は閉場の30分前まで） | 6月6日(木)－9日(日)は20:00まで開場

会場：横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO、クイーンズスクエア横浜、元町・中華街駅連絡通路

主催：横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

連携拠点：BankART1929、黄金町エリアマネジメントセンター、象の鼻テラス、急な坂スタジオ

公式WEBサイト：<https://www.yokohamatriennale.jp/>

【プレスリリースお問い合わせ】 第8回横浜トリエンナーレ広報事務局（株式会社プラップジャパン：本郷、藤井、畑野）

E-MAIL：yokotoripr@prap.co.jp TEL：080-5887-1091（平日9:30～18:00）

【横浜トリエンナーレ組織委員会お問い合わせ】 横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 広報担当（石川、里見、頼政）

E-MAIL：press@yokohamatriennale.jp TEL：045-663-7232（平日10:00～18:00）

広報用画像貸出等プレス向けサイト：<https://www.yokohamatriennale.jp/press/>